

# 武部臨時議員提出資料

平成 1 4 年 4 月 2 3 日

# 「食と農の再生」研究開発プロジェクト

食と農と美の国づくりに向けた「食農一環」政策を支える研究開発

## 地域経済の要

地域製造業における食品製造業割合  
 4割以上：鹿児島、北海道  
 3割以上：沖縄、青森  
 2割以上：宮崎、佐賀ほか7県

## 農業の構造改革を加速化

意欲ある経営体が躍進する  
 環境条件をつくります。

先端的農業経営を支える研究開発の  
 高度化

### 研究開発の高度化のためのシステム 改革

- \* 産学官連携支援センターの設置による各  
 地域でのコーディネート機能の強化と民  
 間への技術移転の促進
- \* 地域研究拠点の整備
- \* 人材育成・起業化支援プログラムの開設
- \* 競争的な資金の充実

## 食の安全と安心の確保

消費者第一のフードシステムを確立します。

### 「農場から食卓へ」顔の見える関係の構築

- 消費者が信頼するに足る科学的根拠に基づく制度の構築 -

### 食品の安全・安心プロジェクト

- ・ リスク分析を支える有害微生物・カビ毒等の高度検出技術と  
 汚染防止技術の開発
- ・ トレーサビリティや適正な品質表示の裏付けとなるDNA等  
 による品種・産地判別技術の開発

### BSE・人獣共通感染症研究プロジェクト

- ・ BSEの発症機構の解明と生前診断技術の開発
- ・ 鳥インフルエンザ等の感染メカニズムの解明、診断・予防技  
 術等の開発

### 「ブランド日本」食品の提供

- 日本ならではの食文化と地産地消の取り組みの促進 -

### 「ブランド日本」技術開発プロジェクト

- ・ パン・中華めん用等国産新規用途小麦、低アレルギー大豆、  
 栄養・機能性成分の高い野菜や加工食品等の開発

### ポストイネゲノムシーケンスプロジェクト

- ・ 精度の高い(99.99%)イネゲノムの塩基配列解読成果  
 (平成14年末完了)を基に、革新的生物生産システムの構築  
 を目指したポストゲノムシーケンス研究の加速化

### 昆虫産業創出プロジェクト

- ・ 21世紀最大の未利用資源である昆虫のゲノム情報等を活用  
 した環境にもやさしい「ゲノム創農業」の開発
- ・ 遺伝子組換えによる昆虫体内でのワクチン等効率的生産シス  
 テム「昆虫工場」の開発

## バイオ・環境産業の要

市場規模見通し(2010年)  
 バイオ産業 6.3兆円  
 環境産業 6.1兆円

## 都市と農山漁村の共生・対流

人と自然が共生する  
 美の国づくりを進めます。

地球にやさしい生物エネルギー・  
 資源の有効利用

### 環境ビジネス創出プロジェクト

- ・ 植物や微生物を用いて環境を修復する  
 バイオレメディエーション技術の開発
- ・ 遺伝子組換え技術等を活用したバイオ  
 マスエネルギー、資源循環型バイオブ  
 ロダクツの開発

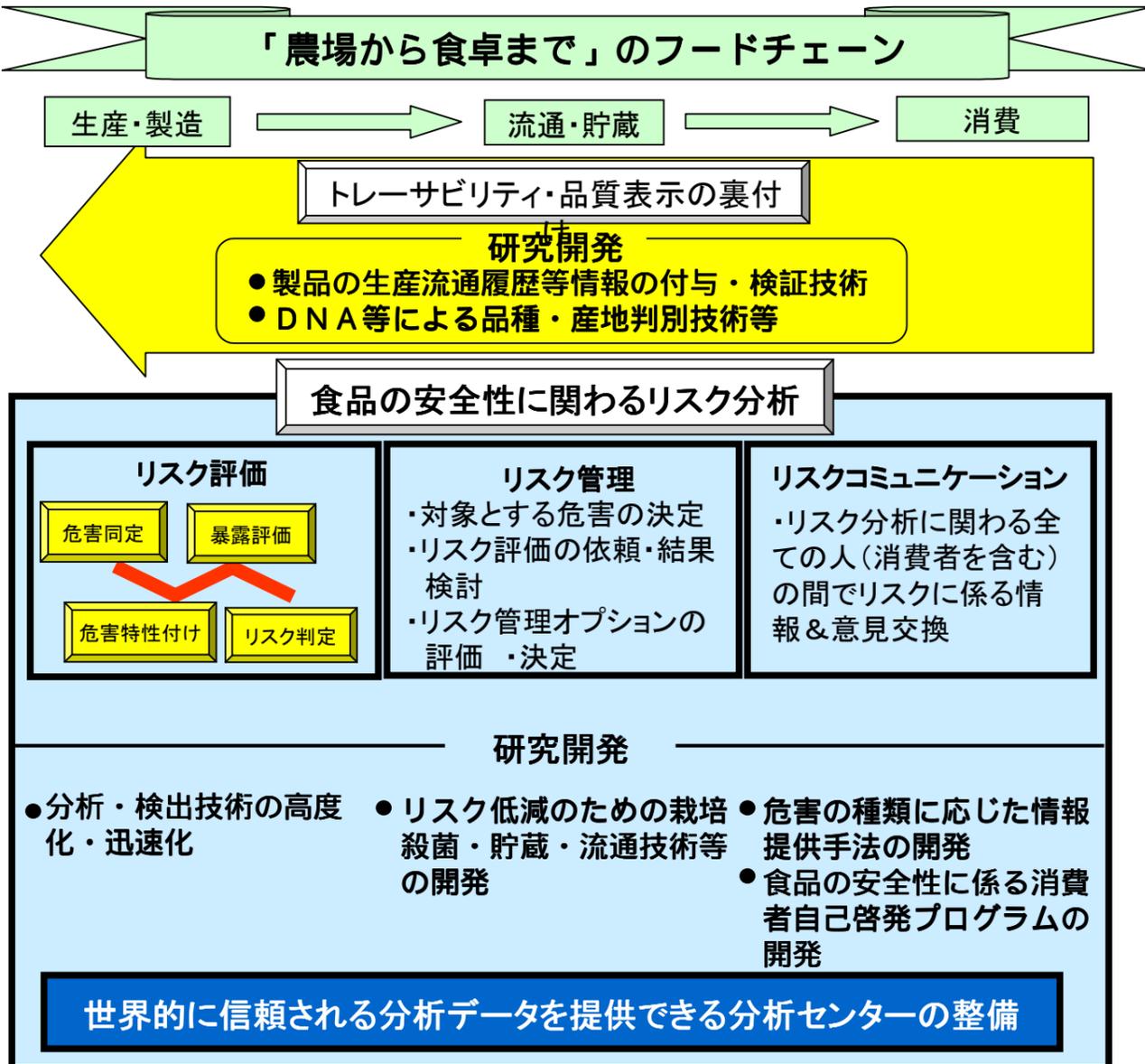
### ナノバイオプロジェクト

- ・ マイクロレベルのセンサー等生物機能  
 を活用した検査システムの開発
- ・ 生物微細構造を工学的に模倣した新素  
 材(ナノレベルの電子回路等)の開発

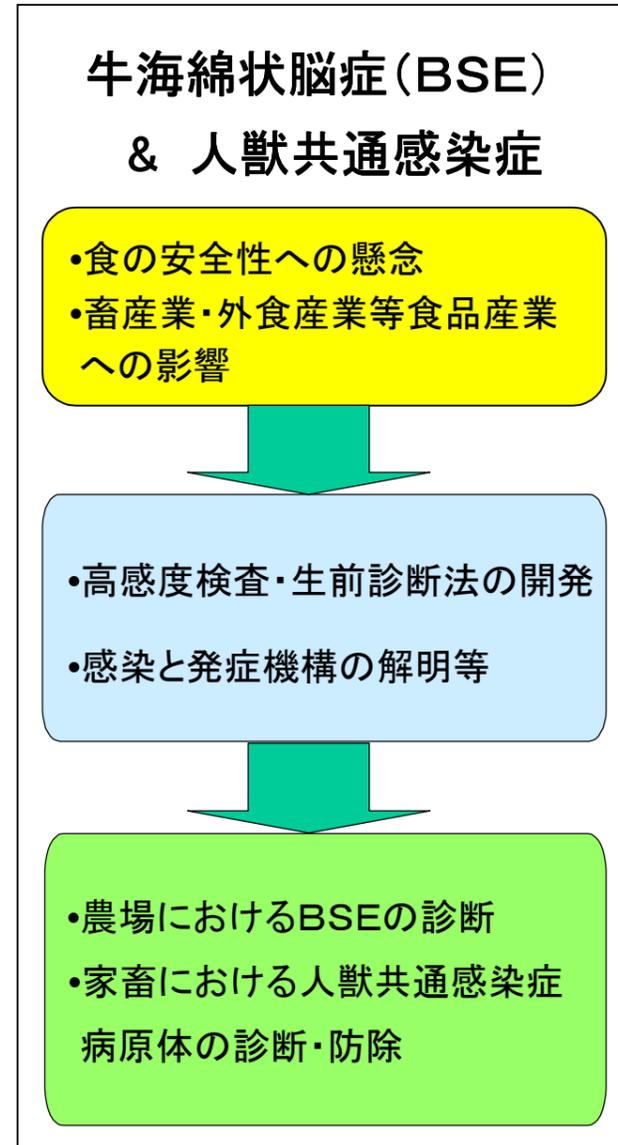
農林水産・食品産業(約109兆円)の再生・活性化

# 消費者第一のフードシステムの確立に向けて

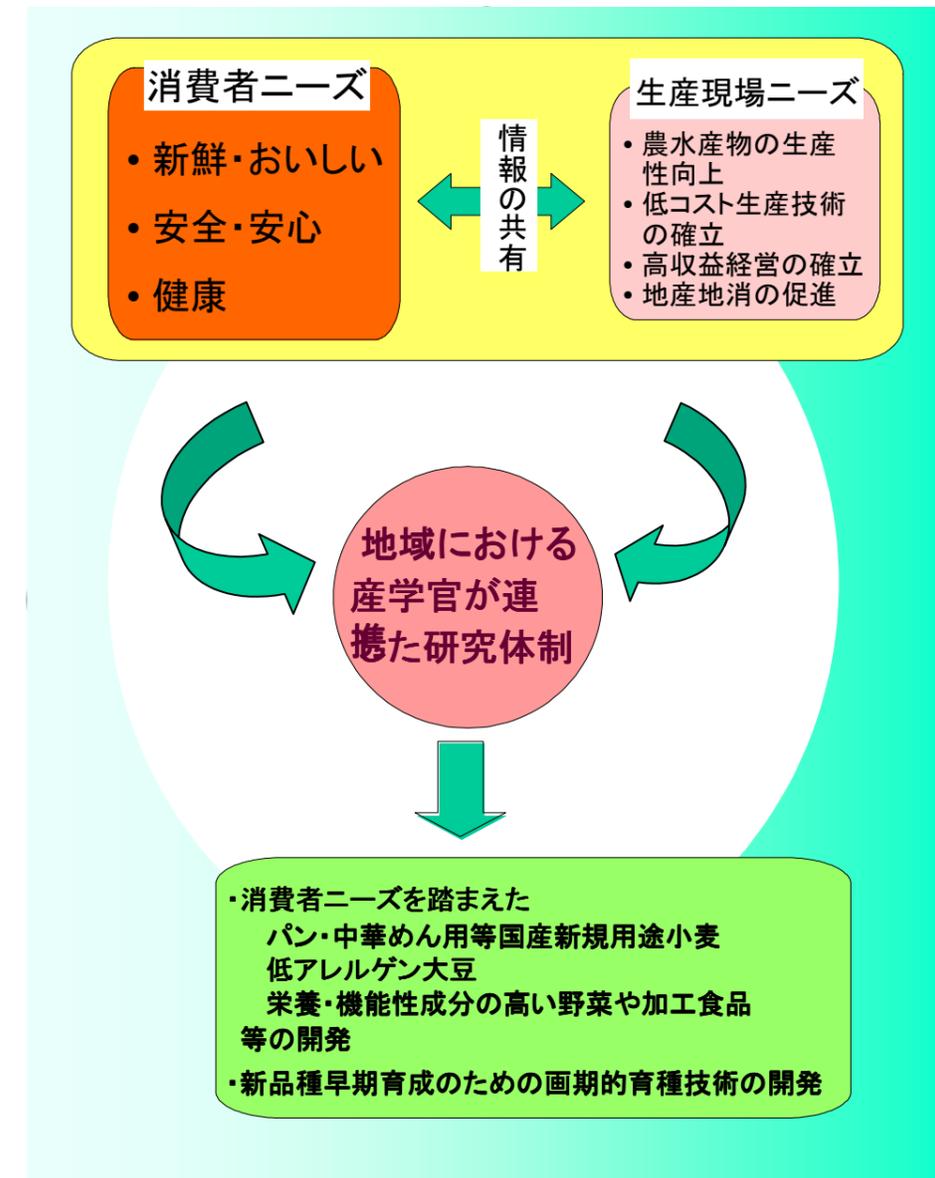
## 食品の安全・安心プロジェクト



## BSE、人獣共通感染症研究プロジェクト



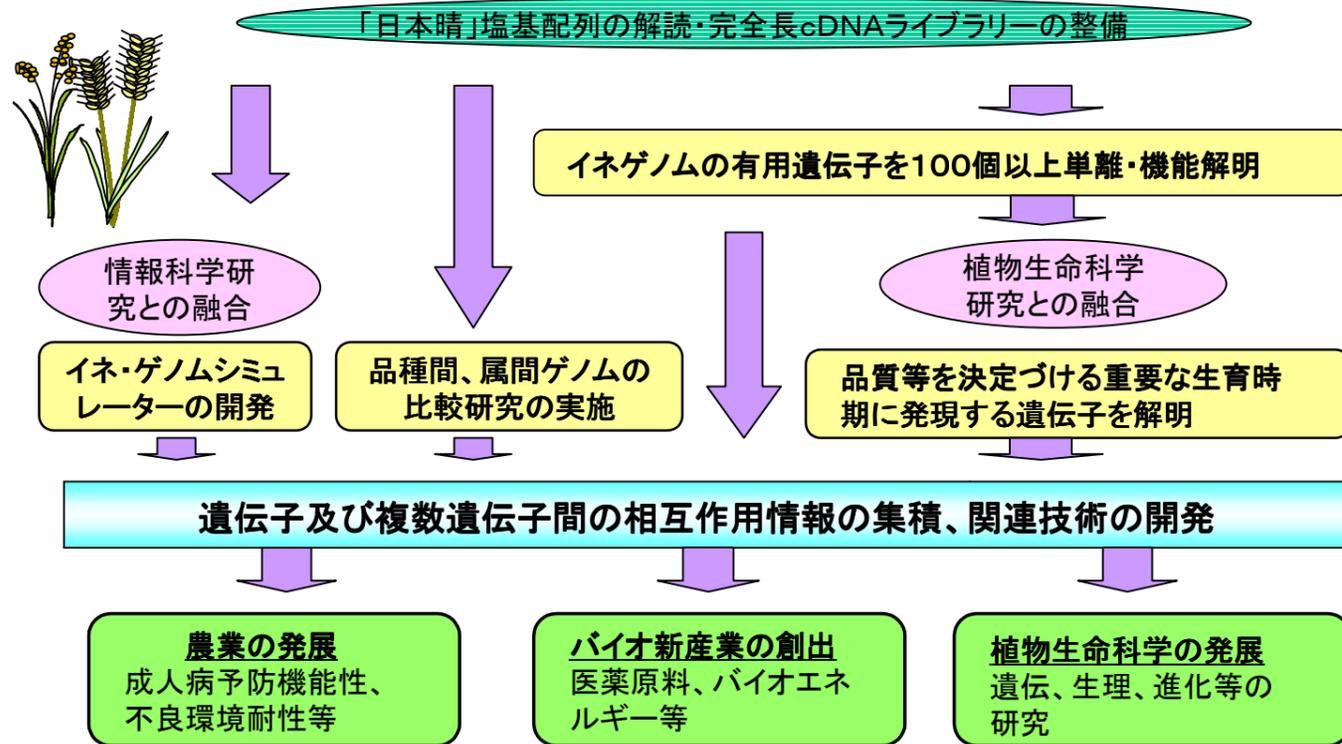
## 「ブランド日本」技術開発プロジェクト



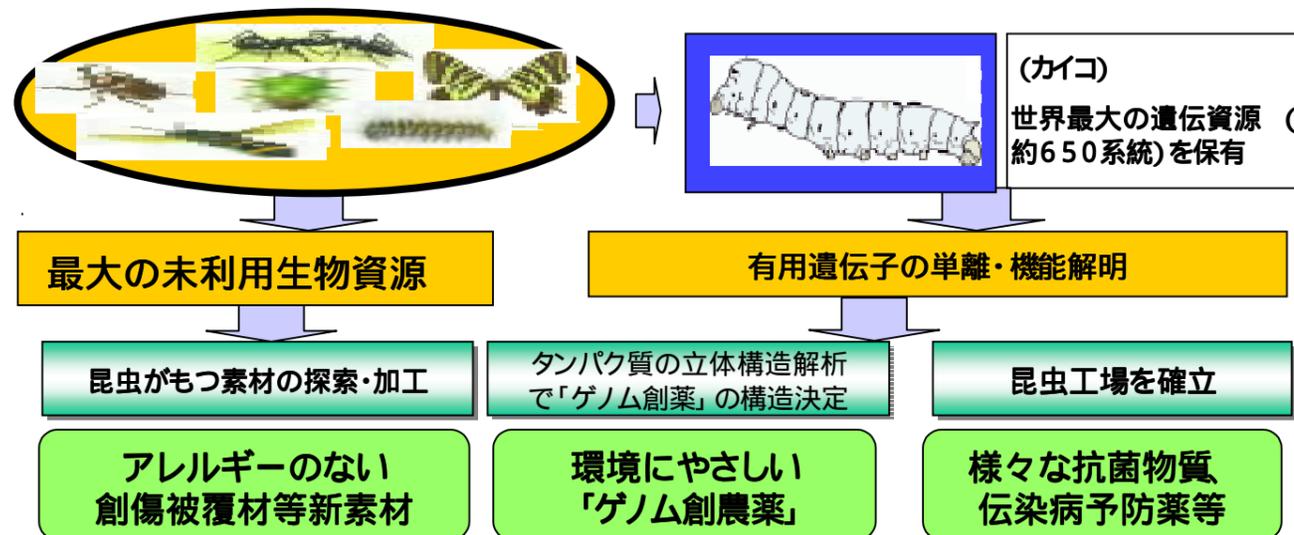
消費者の信頼を得たフードシステムの確立  
農林水産、食品産業（約109兆円）の再生・活性化

# 先端技術を活用したバイオ、環境ビジネスの創出に向けて

## ポストイネゲノムシーケンスプロジェクト



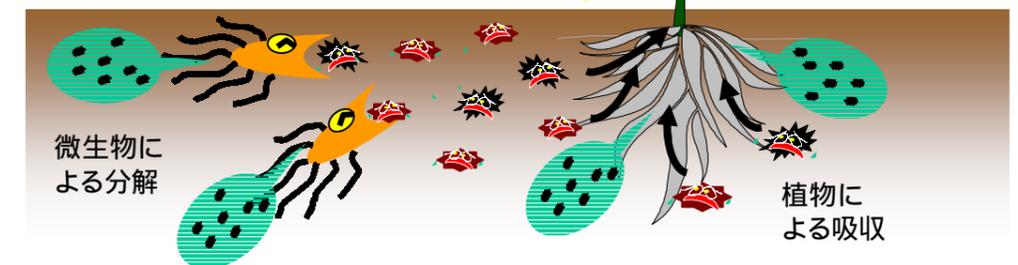
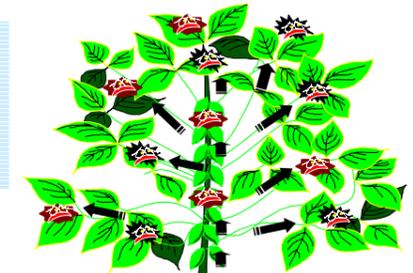
## 昆虫産業創出プロジェクト



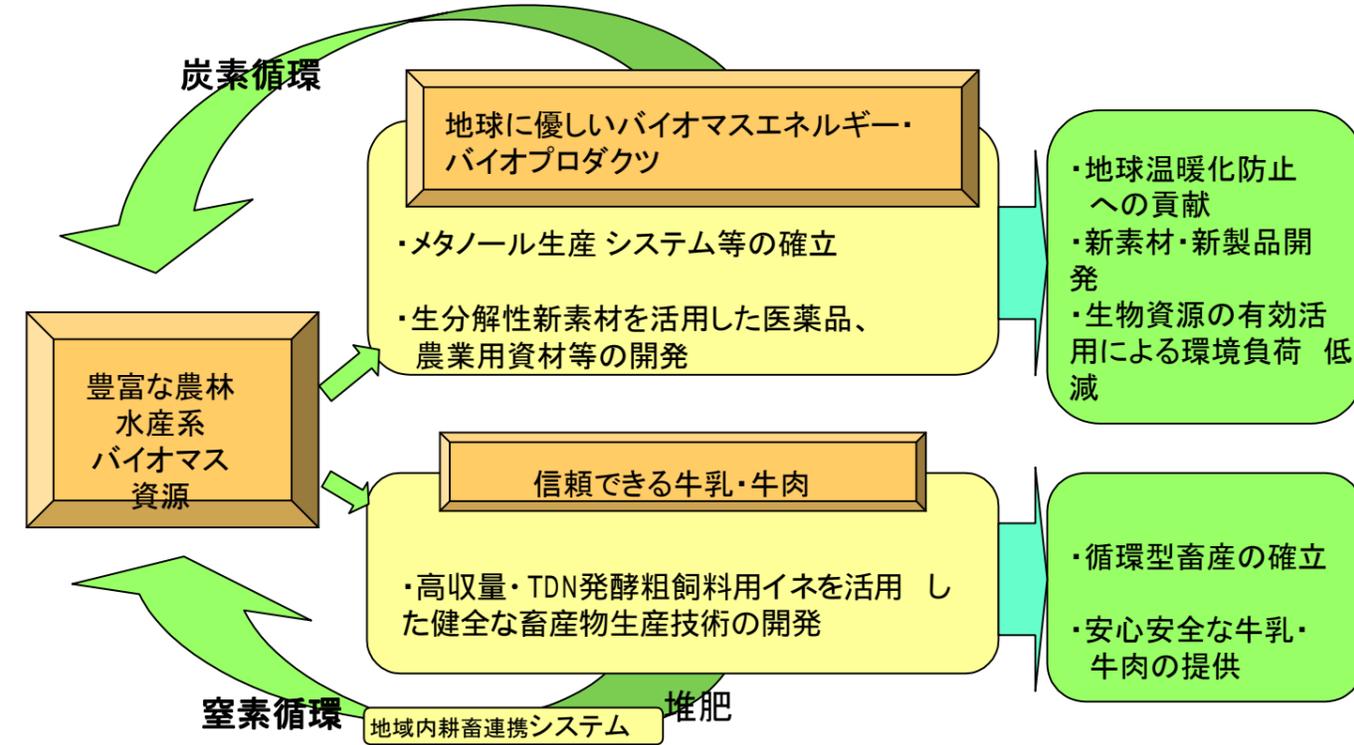
## 環境ビジネス創出プロジェクト

### ○バイオレメディエーション技術の開発

遺伝子組換え技術による分解・吸収能力の高い微生物や植物の開発とそれを活用した汚染土壌の修復



### ○バイオマス資源の循環利用技術の開発



2010年のバイオ関連市場規模は約6.3兆円

2010年の環境関連市場規模は約6.1兆円